

地域活性化委員会

委員長 秦 美郷
副委員長 有川 朋邦

1) 基本方針

1 地域活性化委員会はこのまちが抱える人口減少や中心市街地における賑わい低下の解決、
2 地域コミュニティのつながりの強化を担っています。若年層の流出や商業施設の減少、地
3 域社会の希薄化が進む中、まちは一時的な盛り上がりだけではなく、地域の活性化が継続
4 的に進むように、私たちは地域住民と行政、企業との連携が必要であり、若い世代がまち
5 づくりに対して積極的に参加ができる促しと様々な交流の場を提供する必要があります。

6 まずは、地域が活性化するために、一人ひとりがまちの発展に対して自分事と認識し、
7 まちの情報や魅力を伝播させる意欲を高めます。そして、まちの情報や魅力をより伝播さ
8 せる方法を知っていただくために、例会を通して様々な情報や魅力を知るとともに、発信
9 方法を学んでいただくことで、自発的な行動をしやすくします。さらに、新たな発信方法
10 を発見するために、様々な方々と意見交換を行うことで、新しいアイディアを生み出し、
11 多様性溢れる交流も行うことができます。また、サルビア交付事業では、青少年にこのま
12 ちと強いつながりを持っていただくために、まちの魅力や可能性を発信するイベントを開
13 催することで、まちに愛着を持っていただくとともに、様々な方々と出会う場としても活
14 用していただけます。そして、地域の活性化を継続的に行うために、関係諸団体と協働し、
15 まちの魅力で賑わう機会を提供することで、このまちとより強いつながりが持て、一体感
16 が生まれます。さらに、私たちが今後もこのまちから頼られる組織であるために、地域住
17 民が主体となるまちづくりの促進や支援を行うことで、持続可能な活動につながります。

18 四日市青年会議所は人とまちをつなぐ懸け橋となり、地域社会から信頼され、必要とさ
19 れ続けます。このまちは古き良きものと、様々な魅力を未来へとつなぎ、様々な方々に好
20 まれるまち、誇れるまち、魅力あるまちとなり、持続可能な社会になると確信しています。

2) 事業計画

23 1. 4月度例会	4月17日
24 2. 10月度例会	10月26日
25 3. サルビア基金積立活動	1月～9月
26 4. サルビア基金交付事業	8月30日
27 5. 対外事業窓口（海洋少年団、四日市港まつり実行委員会）	
28 6. 出向者への支援	通年
29 7. 同好会への支援	通年

3) 事業予算

347,000円

4) 委員会開催予定日

34 毎月第2木曜日

35 第二回正副理事長予定者会議 2024年10月10日(木)

36 意見 1:調査研究をしっかり行って背景を見直してください。
37 対応 1:ヒアリングを再度行った上で調査研究も行い背景を見直しました。
38 意見 2:4月度と10月度例会の区切りがわかりにくい
39 対応 2:L11のさらに、からが10月度例会とわかるように表記しました。
40
41 第二回理事予定者会議 2024年10月23日(木)
42 意見 1:有識者の部分を柔らかい表現のほうが良いのではないか。
43 対応 1:有識者をまちに携わりの深いまちに住まう人々、行政の方に変更しました。
44 意見 2:次へつながりますが何につながるのかが分かりにくいです。
45 対応 2:次へのところを10月度例会につながりますに変更しました。
46 意見 3:4月度例会から10月度例会に出てもらうための工夫はありますか。
47 対応 3:4月度例会参加者の方々と打ち合わせなどで10月度例会までの間、何度かお会いし
48 ます。
49 意見 4:有識者に、を有識者からに伝えてのほうが良いのではないか。
50 対応 4:まちに携わりの深いまちに住まう人々や行政の方から、に訂正しました。
51 意見 5:年間事業概要のサルビアの事業内容の中で、まちと強いつながりの文を見直してほ
52 しい。
53 対応 5:まちと強くつながりを持っていただきますに修正しました。
54
55 第三回正副理事長予定者会議 2024年11月13日(火)
56 意見 1:中段の文字数が多いのではないかでしょうか。
57 対応 1:文字数を見直し修正しました。
58 意見 2:事業予算の記載方法が違うのではないかでしょうか。
59 対応 2:他委員会の記載方法を参考にし修正しました。
60 意見 3:サルビア基金の記載はサルビア委員会も絡んでいることから、記載は無い方がいい
61 のではないか。
62 対応 3:事業予算からサルビア基金を削除し、事業予算のみ記載しました。
63 意見 4:L5の文章が前文からのつながりがわかりにくい。
64 対応 4:文章を修正しました。
65 意見 5:なぜ情報が錯綜し分散されているのか考えてください。
66 対応 5:文章を修正しました。
67 意見 6:L2の文章に接続詞を入れると読みやすくなる。
68 対応 6:文章を修正しました。
69 意見 7:情報という文字を魅力に変えてみてはどうでしょうか。
70 対応 7:情報と魅力を使い分け記載しました。
71 意見 8:周知と認知の違いを再度考えてみてください。
72 対応 8:文章を修正しました。
73 意見 9:一年間のヴィジョンを考えゴールを設定してください。
74 対応 9:地域を活性化させる人財を増やす。
75 意見 10:広報さえ出来ればいいのでしょうか。
76 対応 10:広報以外の文章も追加しました。
77 意見 11:L1とL6は不要ではないか。
78 対応 11:文章を見直し削除しました。

- 79 意見 12: 手法を学ぼうになっているのではないでしょうか。
- 80 対応 12: 手法を学んで行動に移していただきます。
- 81 意見 13: サルビア基金を使ってまちの人をどう変えていくかも考えてください。
- 82 対応 13: まちに愛着を持っていただきます。
- 83 意見 14: L2 まちの人々が求める情報と L4 この時代に対応した情報に違いはありますか。
- 84 対応 14: 文章を見直し削除しました。
- 85 意見 15: 重鎮の意味を使うなら、そのような人ばかりが求められているのかをもう一度考
- 86 えてください。
- 87 対応 15: 文言を見直し削除しました。
- 88 意見 16: L9 の SNS などで魅力とありますが、基本方針内で具体例を出してしまって手法を
- 89 かなり狭めることになるのではないかでしょうか。
- 90 対応 16: SNS という文言を見直し削除しました。
- 91 意見 17: L10 の 10 月度例会につながるとあるが、前文に 10 月度例会で何をするのかが記載
- 92 されているとわかりやすくなると思います。
- 93 対応 17: 文章を見直し削除しました。
- 94 意見 18: 10 月度例会が完遂しないと、4 月度例会としての目的が達成されないままの文章
- 95 になるので一考してください。
- 96 対応 18: 4 月度例会と 10 月度例会を分けて記載しました。
- 97 意見 19: L6～L12 にかけて、その手法を用いた時にどのような姿になっているかを記載して
- 98 いただいた方が、より手法の必要性が見えてくると思います。
- 99 対応 19: 記載を修正しました。
- 100 意見 20: L20 まちが変化するのでしょうか。また。変化を理解、強くなる手法が書かれてい
- 101 ないので、なぜ変化を理解し、強くならなければならぬかが見えてきません。
- 102 対応 20: 文章を見直しました。
- 103 意見 21: まちの人々が求める情報とはどのようなことでしょうか。
- 104 対応 21: 文言を見直し削除しました。
- 105 意見 22: L7 の文章構成を一考してください。
- 106 対応 22: 文章を見直し修正しました。
- 107 意見 23: 4 月度例会では発信の方法を理解してもらうということでしょうか。アイディアが
- 108 生まれることが大切なのか、自主的に発信できる意識が重要なのか教えてください。
- 109 対応 23: 自主的に発信ができる意識が重要だと考えます。
- 110 意見 24: 10 月度例会で初めて関わる方はどのような学びをイメージされているか教えてく
- 111 ださい。
- 112 対応 24: まちを活性化させる仕組みを知れる。
- 113 意見 25: 青少年事業が 4 月や 10 月とどのように関わるのか教えてください。
- 114 対応 25: まちづくりに対して積極的に参加できるようにします。
- 115 意見 26: 委員長と副委員長の名前の頭を揃えてください。
- 116 対応 26: 修正し名前を揃えました。